

JPOPM17@秋葉原コンベンションホール
2009年11月26日

RIPEレポート

JPNIC IP事業部 奥谷泉



社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2009 Japan Network Information Center

RIPE地域のフォーラムについて

- RIPE=地域内のコミュニティ、RIPE NCC=レジストリ、と名称を分けて役割を定義

- ポリシーとオペレーションフォーラムが融合しており、オペレーションネタのセッションも充実
 - ルーティング、DNS、IX(EIX)、Anti-Spamは専門のセッション有り、Plenaryも運用ネタが中心

- アドレスポリシーは「ポリシーWG」で議論
 - ミーティングでコンセンサスは取らず、MLでの議論の状況とあわせてChairが判断
 - Sander Steffann、Gert Doeringがチェア



その他の特徴

- RIPE NCCスタッフはポリシー調整担当とポリシー実装担当者が分かれており、それぞれの視点から適宜議論への補足を行っている

- Social Eventにも力を入れています

- Secret WG
 - 公式には存在しないお遊びのWG
 - ミーティング最終日に活躍

RIPE59

□ 開催期間

- 2009年10月5日(月)～9日(金)

□ 会場

- Hotel Corinthia、リスボン

□ 参加者

- 約300名(日本からの参加者9名)



プログラム

RIPE 59 Meeting Plan

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
09:00					
09:30	IPv6 for LIRs Training Course	Plenary RIR/NRO Reports	Address Policy	Database	Routing
10:00					
10:30		Coffee Break	Coffee Break	Coffee Break	Coffee Break
11:00					
11:30	Newcomers' Intro	Plenary	Address Policy	EIX	DNS
12:00					
12:30					
13:00	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch
13:30					
14:00	Plenary	Plenary	Coop- eration	Test Traffic	Address Policy
14:30					
15:00					
15:30					
16:00					
16:30	Plenary	IPv6	NCC Services WG	EIX	Anti Abuse
17:00					
17:30					
18:00					
18:30					
19:00					
	Social Event: 	Social Event: 	Social Event: 	RIPE Dinner: 	

Main Room
 Side Room

今回のミーティングの特徴

□ IPv6に向けての移行

- 政府主導じゃないと動かない？という主張をGeoff Hustonがパネルディスカッションで発言
- Plenary セッションで複数の事例紹介あり

□ RPKIの実装検討

- RPKIの提供に向けたRIPE NCCとしての課題を検証中
- Routing WGでも実装方法について議論

□ DNSSEC

- ルートゾーンへの署名
スケジュール発表

December 1, 2009

ルートゾーンへの署名

ICANNとVeriSign社によるKSR(Key Signing Request)の処理

January - July 2010

署名付きルートゾーンの提供

July 1, 2010

トラストアンカー提供とKSK運用

署名付きルートの提供完了

RIPE Lab

□「RIPE Labs」と呼ばれる活動を開始

- 正式サービス前の実験サービスや開発途中のプログラムを公開し、RIPEコミュニティでの利用向上につなげたうえで最終的なサービス提供につなげる
- REX - the Resource Explainer
- The Internet Number Resource Database
- NetSense - next generation Information Services
等

こんなものも

IPv4 resource consumption - The Race

<http://www.youtube.com/watch?v=-g-TOkMqufI>

参考URL

<http://labs.ripe.net/>



RIPE地域におけるアドレス提案

- APNICとは異なる枯渇に向けたアプローチ
 - 在庫枯渇時期に応じた“公平”なIPv4アドレスの分配について
 - 施行の方向で引き続き検討

- APNIC地域と共通した提案
 - RIPE地域における最後の/8の分配方法について
 - APNICと同様の内容で引き続き検討
 - IPv4在庫枯渇に向けたIANAからRIRへのIPv4割り振りに関するグローバルポリシー
 - ARIN地域で改定のうえ、提案されているため、ARINでの結論を待ったうえで検討する
 - 初回申請時における経路集約要件の撤廃
 - 施行(2009年9月)。経路集約に関するオペレーショナルガイドラインを別途作成
 - 追加割り振り申請時の歴史的PIアドレスの利用確認
 - 一部見直しのうえ継続議論

参考URL

□ RIPEにおけるポリシー策定プロセス

- <http://www.ripe.net/ripe/policies/>

□ RIPE59

- <http://www.ripe.net/ripe/meetings/ripe-59/>

□ RIPEにおけるポリシー提案一覧

- <http://www.ripe.net/ripe/policies/proposals/index.html>

Q&A

